

ITC資格20周年記念 ITCカンファレンス

“ITCのDX支援で日本を元気にしよう！”

2021年 11月 5日-6日

特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

会長 澁谷裕以 (しぶや ひろゆき)

ITコーディネータの歴史


- 1999年6月

通商産業省・産業構造審議会情報産業部会・情報化人材対策小委員会の中間報告「戦略的情報化投資活性化のための環境整備の試み」で「ITコーディネータ」が提唱される。

“中堅企業等のCSOにとっては、戦略的情報化のビジョンを示し、これを設計するのみならず、システムインテグレータ等がシステム構築を実施する場合にもアドバイザー的に働き、これが無事に稼働するまで一貫して関与し続けるような経営戦略とITをつなぐ人材を必要としている。こうした人材を「ITコーディネータ」と称することを提案する。”

- 2000年2月 ITSSP事務局ITコーディネータ分科会「ITコーディネータ中間報告」
- 2000年10月 NPO法人設立申請書東京都に提出
- 2001年2月 法人登記完了

- 2001年10月 第1期ITコーディネータ資格者認定
559名のITコーディネータが誕生



現在も
159名の方が
ご活躍中

- ✓ 創設以来の累計ITコーディネータ数は14,590名（2021/10末）
- ✓ 2021年10月末日時点のITコーディネータ数は6,473名
- ✓ 2022年度末には7000名を目指して「第2の創業計画」推進中

創設に向けて熱く動いていただいた経済産業省さま、
PGLを始め多くの教材・制度をつくって
礎を築いてくださった先達の方々、
その意を引き継いで資格の発展に貢献された
歴代の役員や協会職員、
そして、この資格を活かしてともに研鑽を積み、
経営者とパートナーシップを組んで
「ITを経営の力として活かすために」活躍されてきた
ITコーディネータの皆さまに、

心から感謝を申し上げますとともに、20周年を迎える
ことができたことをともに喜びたいと存じます。

コロナ禍で加速するDX

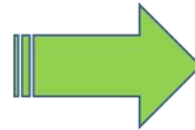
- 2018年9月 経済産業省「DXレポート」
～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～
- 2020年3月 WHOが新型コロナウイルスはパンデミックの状態にあると宣言
 - ✓ 「非対面・非接触」の行動様式が余儀なくされる
 - ✓ デジタル技術活用の必要性への認識が劇的に高まる

DXとは何か

- 「DXは、本来、**データやデジタル技術を使って、顧客視点で新たな価値を創出していくこと**である。そのために、ビジネスモデルや企業文化などの変革が求められる。」（経産省 2019年7月 「DX推進指標（サマリー）」）
 - ✓ 本質は、**顧客視点で新たな価値を創出していくこと**。
 - ✓ Digital よりも Transform が大事



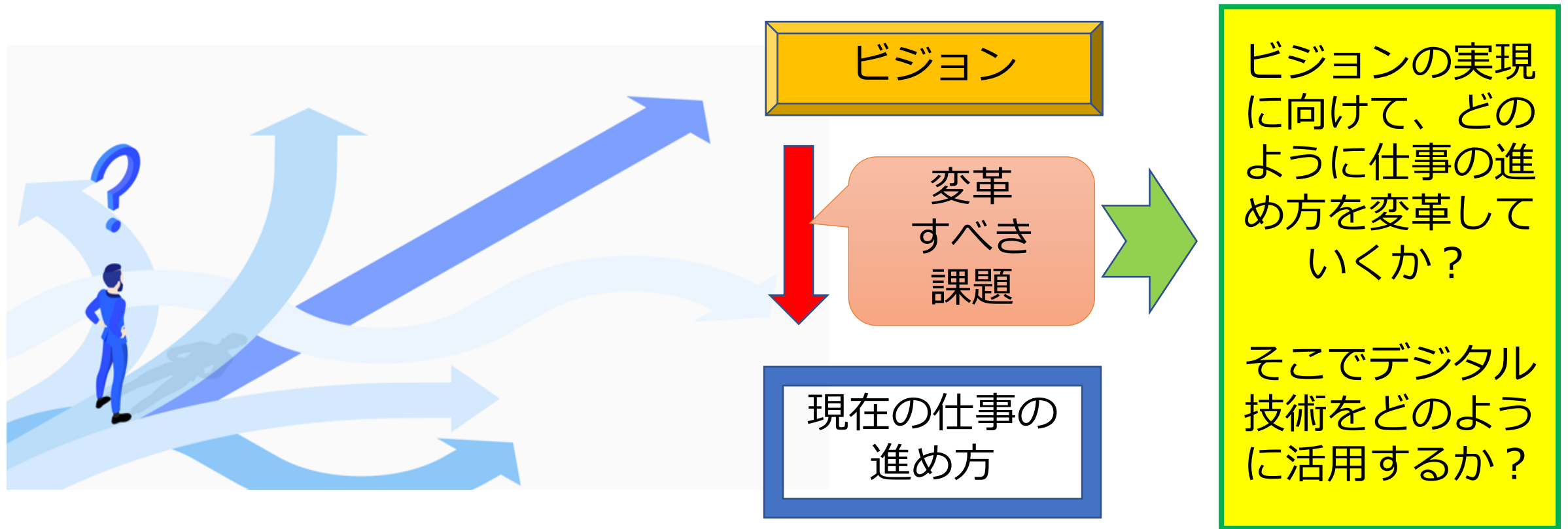
transform



DNAは同じ、しかし姿・形、そして機能（飛べる）まで違う


顧客視点で新たな価値を創出するためには

- まず「実現したい未来（＝経営ビジョン）」をしっかりと描くこと。
- ✓ “理想もなければ課題もない”・・・馬田隆明氏『未来を実装する』



- これは、まさしくITCの方法論であり、ITCが20年間やってきたこと。

ITCのDX支援で日本を元気にしよう

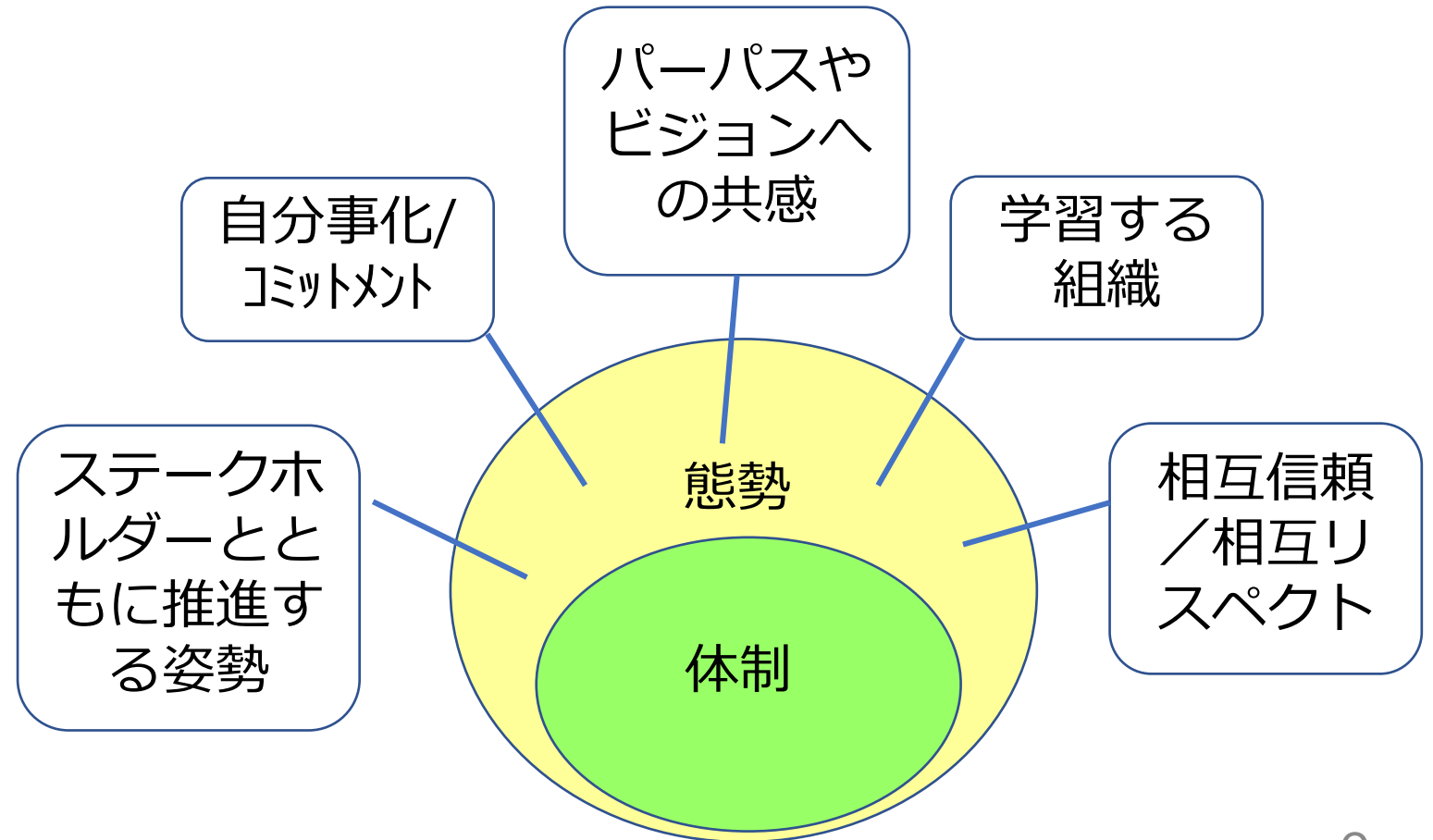
- IMDの世界競争力ランキング：2021年度は**世界31位**  1989年～1992年
世界NO.1
 - ✓ 経済状況 12位、
 - ✓ **政府の効率性** 41位、
 - ✓ **ビジネスの効率性** 48位、
 - ✓ インフラ 22位
- 政府の効率性、ビジネスの効率性をDXで高めることができれば、間違いなくランキングは上昇する。
 - ✓ 取り分け、労働生産性が大企業の4割でしかない中小企業が、DXで労働生産性を高めることができれば、日本全体が活性化する。

国のDX認定制度にもとづくITCA表彰について

- 本表彰の応募プロセスを通じて、ITCの力でDX認定企業を輩出し、日本の中小企業のDXを推進したいとの思いで、経済産業省とも密に打ち合わせて表彰制度をつくった。

- 2つの特徴

1. 成果よりも、今後、継続的に成果を生み出していくことのできる「**態勢**」構築を重視



2. 経営者とITCのパートナーシップを表彰する

- ✓ 日本の中小企業の経営者に、「ああ、こうやってITコーディネータとパートナーシップ良く進めていけば、うちでもDXができるかもしれない」と思っていただけの好事例をつくっていきたい。
- ✓ それによって、ITコーディネータの認知度が高まり、日本のDXが推進され、日本の競争力が復活することを狙いたい。

応募および表彰について

- 16件の応募をいただきました。初年度としては大きな成果でした。応募に当たっての経営者・ITCのご尽力に心から感謝申し上げます。
 - ✓ 16件中14件は独立系ITCからの応募。内1件は2人のITCが協力して支援した事例で、新鮮な取り組みであったと思います。
 - ✓ 16件中2件は企業内ITCがご自分の会社のDX推進に経営者とともに取り組みました事例（内、1件はチームでの取り組み）。企業内ITCがどのように資格を活用されるかの好事例であったと思います。
- また、11月1日までに16件中3件が国のDX認定を取得されました。誠に、おめでとうございます。（因みに、11月までのDX認定の総数は209件です。）



DX認定

Digital Transformation
Certification

- 審査委員会の厳正な審査の結果、次のとおりとなりました。具体的な案件名は後ほど岡田審査委員長から発表していただきます。また、最優秀賞・優秀賞は事例発表をしていただきます。

- ✓ 最優秀賞 経済産業省商務情報政策局長賞 1件
- ✓ 優秀賞 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 理事長賞 1件
- ✓ 優秀賞 ITコーディネータ協会会長賞 4件
- ✓ ITコーディネータ協会奨励賞 9件

- 審査委員は以下の方々です (50音順)。

- ・ 審査委員長 岡田浩一氏 明治大学経営学部 教授
- ・ 審査委員 奥村明俊氏 独立行政法人情報処理推進機構 理事
- ・ // 高島利尚氏 中小企業診断士、ITコーディネータ
- ・ // 松島桂樹氏 クラウドサービス推進機構理事長、ソフトピアジャパン理事長
- ・ // 山地禎比古氏 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事
- ・ // 吉田琢也氏 株式会社 日経BP 執行役員

本日、明日のご講演について

● 本日（11月5日）のご講演

◆ 13：30～14：20



富田達夫様

IPA理事長
ITCA評議員会議長

DXで皆さまと拓く未来

◆ 14：30～15：20



渡辺琢也様

経済産業省商務情報政策局
情報技術利用促進課長 兼
情報産業課ソフトウェア・
情報サービス戦略室長
我が国におけるDX取組
の現状と今後の政策の
方向性について

◆ 15：30～17：00

岡田審査委員長（明治
大学教授）から 受賞
案件の発表・講評

【表彰式および事例発表】

* 表彰に先立ち、野原商務
情報政策局長よりご挨拶を
いただきます。

・ 最優秀賞（経産省商務
情報政策局長賞）

1件

・ 優秀賞（IPA理事長賞）

1件

・ 優秀賞（ITCA会長賞）

4件

● 明日（11月6日）のご講演

◆ 10：00～10：50



矢野和男様

株式会社日立製作所 フェロー
株式会社ハピネスプラネット
代表取締役 CEO

予測不能の時代を生きる
「オプティミズム」が人と
社会を変える

◆ 11：00～11：50

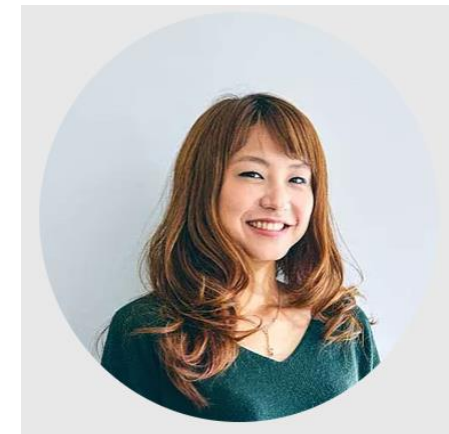


馬田隆明様

東京大学 産学協創推進本部
FoundX ディレクター

未来を実装する
テクノロジーの社会実装の
方法論

◆ 12：00～12：50



津脇慈子 様

デジタル庁統括官付
参事官付企画官

ご参加いただき皆様には

是非、2日間を楽しんでいただき

「ITCのDX支援で日本を元気にする」ためのヒントを得て
今後に活かしていただければ幸いです